

事業所名

放課後等デイサービス こどもあつぷ稲沢

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026年

1月

5日

法人（事業所）理念	こどもあつぷ稲沢では、子ども一人ひとりが安心して過ごせる環境の中で、自分らしさを大切にしながら成長していくことを支えます。日々の関わりや遊び、生活の積み重ねを通して、子どもが「やってみたい」「伝えたい」「関わりたい」と感じられる経験を大切に、家庭や地域と連携しながら、子どもの育ちに寄り添った支援を行います。							
支援方針	学齢期の子どもたちが、学校生活後の時間を安心して過ごし、自分のペースで経験を広げていけるよう支援します。学校・家庭・地域それぞれの生活をつなぐ場として、生活面・学習面・対人面の状況を踏まえながら、自己選択や人との関わりにつながる経験を大切にします。健康・生活、運動・感覚、認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性の各領域が相互に関わる支援を行い、将来の生活につながる力を育んでいきます。							
営業時間	平日 学校休業日	10時 9時	00分 00分	19時 18時	00分 00分	まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	学校から事業所への切り替えを意識し、安心して過ごせる生活の流れを整えます。身支度や休息、時間の使い方について、声かけや環境調整を行いながら、日常生活に必要な習慣につながる関わりを行います。						
	運動・感覚	屋内外での遊びや活動を通して、身体を動かす経験や感覚への気づきを促します。子どもの興味や体力、気持ちに配慮しながら、無理のない形で身体を使う機会を設けます。						
	認知・行動	学習支援や活動の中で、見通しを持って取り組む経験を大切にします。手順の確認や視覚的な手がかりを用いながら、自分で考え、行動につながるよう支援します。						
	言語 コミュニケーション	日常のやり取りや集団活動の中で、自分の気持ちや考えを伝える経験を重ねます。言葉だけでなく、表情や態度、状況に応じた伝え方に気づけるよう関わりを行います。						
	人間関係 社会性	他児や職員との関わりを通して、役割や順番、相手の気持ちに触れる経験を積み重ねます。集団の中で過ごす時間を通して、社会性につながる関わりを大切にします。						
家族支援	学校生活や家庭での様子について情報共有を行い、保護者の思いや困りごとを受け止めながら連携を図ります。子どもの成長や変化と一緒に確認し、家庭での関わりや生活全体につながる支援を行います。				移行支援	学校や関係機関と連携し、進級や生活環境の変化に向けた支援を行います。将来を見据え、段階的に社会との関わりを広げていけるよう支援します。		
地域支援・地域連携	学校、相談支援事業所、関係機関等と連携し、必要に応じて情報共有を行います。地域資源を活用しながら、子どもと家庭を支える支援体制づくりに取り組みます。				職員の質の向上	日々の支援を振り返り、職員間での情報共有や研修を通して支援の質の向上に努めます。子どもの様子や変化を丁寧に共有し、より良い関わりを検討していきます。		
主な行事等	制作活動、調理活動、屋内外での遊び、外出活動などを取り入れ、生活の中でさまざまな経験ができる機会を設けています。外出活動や行事については、児童発達支援と合同で実施することもあり、年齢や発達段階に応じて関わり方や役割を調整しながら行います。放課後等デイサービスでは、集団の中での過ごし方や役割意識、順番を意識する経験につながるよう、日常支援の延長として位置づけ、子どもの気持ちや様子に配慮しながら実施します。							